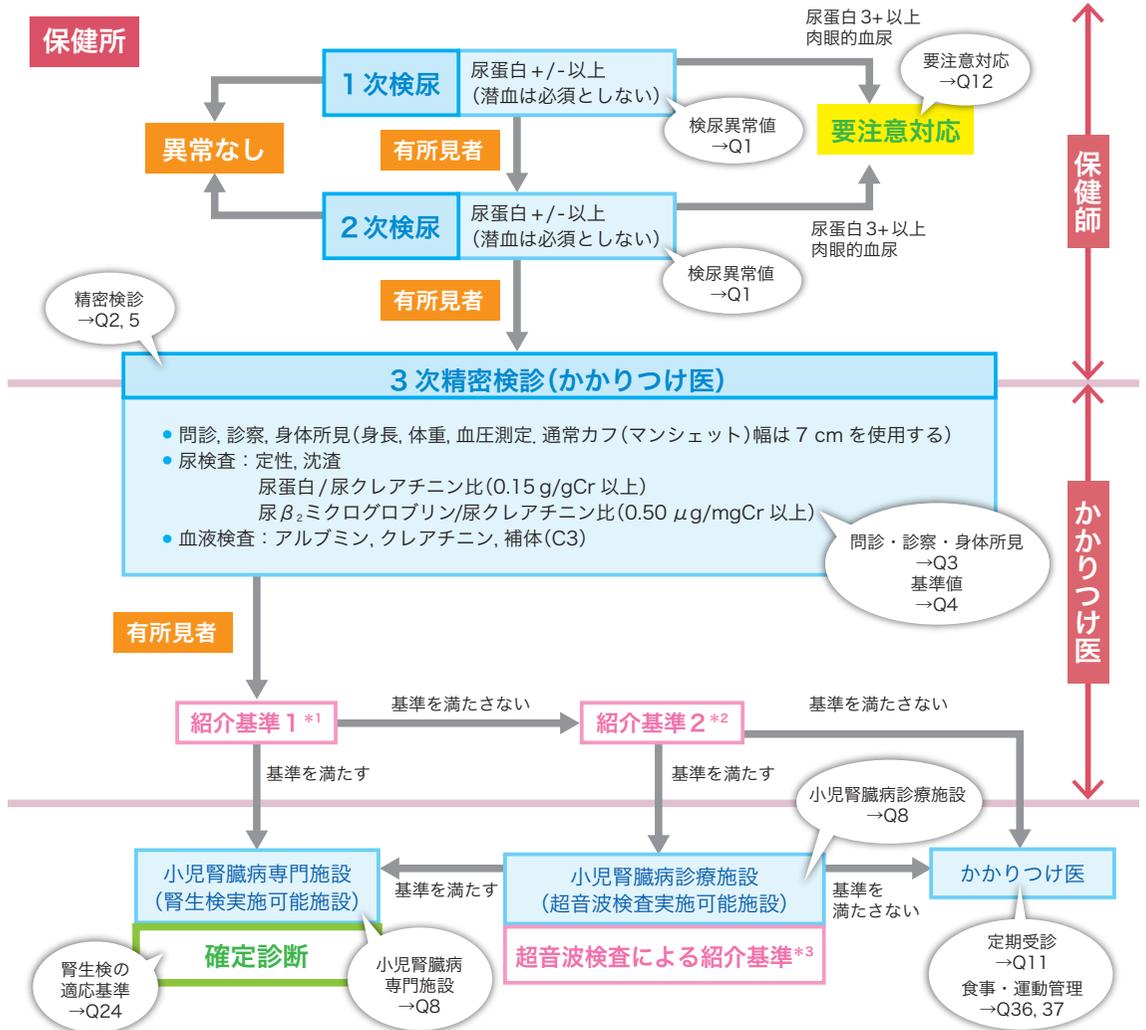


3歳児検尿(腎臓)フローチャート



紹介基準 (Q9,10,34 参照)

*1 紹介基準 1

1. 早朝第一尿の尿蛋白 / クレアチニン比 (g/gCr) [または蛋白定性] が
0.15~0.4 の場合は 6~12 か月程度 (1+ 程度)
0.5~0.9 の場合は 3~6 か月程度 (2+ 程度)
1.0~1.9 の場合は 1~3 か月程度 (3+ 程度)
が持続する場合 (尿蛋白 / クレアチニン比を優先して判定)
上記を満たさない場合でも, 下記 2~6 の所見がある場合は
早期に **小児腎臓病専門施設** に紹介する
2. 肉眼的血尿 (遠心後肉眼的血尿を含む)
3. 低アルブミン血症 (< 3.0 g/dL)
4. 低補体血症 (C3 < 73 mg/dL)
5. 高血圧 (男児 107/62 mmHg, 女児 108/66 mmHg 以上)
6. 血清クレアチニン (> 0.38 mg/dL)

*2 紹介基準 2

1. 白血球尿 50 個 /HPF 以上が 2 回以上連続
2. 赤血球尿 50 個 /HPF 以上が 2 回以上連続
3. 尿 β_2 ミクログロブリン / 尿クレアチニン比が 0.50 $\mu\text{g}/\text{mgCr}$ 以上

*3 超音波検査による紹介基準 (SFU 分類は Q34 参照)

1. SFU 分類 3 度以上の水腎症 (SFU 分類は Q34 参照)
2. どちらか一方の腎臓の長径が -2SD 以下, 左右差 1 cm 以上
3. 腎実質輝度の上昇
4. 結石を疑わせる輝度の上昇と音響陰影
5. 腎臓・尿管の異常 (1 側腎欠損, 嚢胞, 腫瘍, 上部尿管拡張など)
6. 中等度以上の尿充満時, 膀胱壁肥厚や不整, 膀胱後面の下部尿管拡張